



女性

若者

「i」に込められた3つの想い

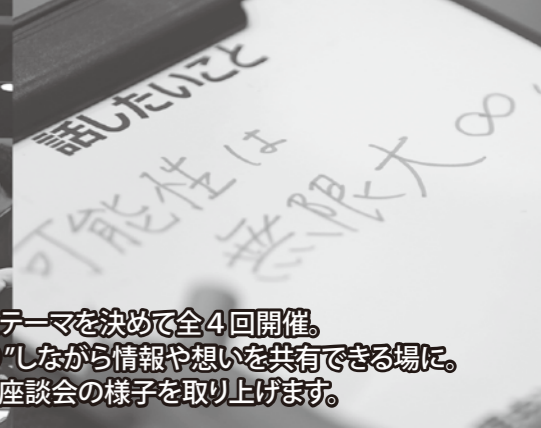
座談会

座談会

「i」に込められた
3つの想い

- ・「私(i)」の想いを語る
- ・「今(i)」の想いを語る
- ・「飯(i)南町」で想いを語る

座談会が生まれ変わりました。
話しやすい雰囲気づくりのため、対象者とテーマを決めて全4回開催。
住民と行政が「ゆるく対話(ひざを交えて会話)しながら情報や想いを共有できる場に。
今月は「若者」と「女性」を対象に開催した座談会の様子を取り上げます。



若者を対象とした座談会は、9月25日(水)19時から来島基幹集落センターで開催しました。町内で働く若者や飯南高校生、地元出身の大学生など25人が参加。この日出てきたテーマは次の4つ。テーマごとにさまざまな想いが語られました。

なぜ私が飯南町にいるのか
飯南町にいる人に「飯南町が好き」と思ってもらえることが理想。でもいろんな理由でそうでない人もたくさんいるかも。人との距離が近くて暮らしやすい反面、プライベートとか適度な距離感の保つのが難しいかな。

やりたいことをして生きていきたい
やりたいことがあっても飯南町では実現できないことも。集まる場所があれば、話し合いができて、やりたいことを実現できる可能性が少しでも増えるような気がします。

若者の居場所
高校生と地域の橋渡しをした。気軽に集まれる場所があるとイベントも開催しやすくなると思う。また一緒にイベントを盛り上げたいという若者へ情報が届くようにしてほしい。

将来やってみたいこと
カフェが好きで、飯南町でやってみたい。でも仕事として成り立つか不安。こんなことを学校や家庭で語ることがなかったので座談会が良い機会になりました。

女性を対象とした座談会は、10月5日(土)10時からさつき会館で開催。この日の参加者は24人。子どもたちと一緒に参加するお母さんの姿もありました。和やかな雰囲気の中、3つのテーマに分かれて、参加者一人一人が想いを語りました。

地域で豊かに暮らすために世代を超えて
志々地区のつながりは強いけど、町全体のつながりは弱いかな。町全体のつながりを創っていくためにも、まずは若者やIターン者同士のつながりづくりと、そのための交流の場が必要だと思っています。

子育て
親同士の横のつながりが薄いので、親子で気軽に行けて交流や情報交換できる場所がほしい。「ほっとCafé」や「育児サロン」があるのは知っていても、実際の子育てが分からないので、最初の一步が踏み出せない人も。実際の子育てが分かるように、ケーブルテレビで放送しても良いかもしれません。

ワーキングママとしてフレキシブル(柔軟)に暮らしたい
働きながらの子育てはとても大変です。介護も同じ。子育て・介護をしている人にも短時間で働ける仕事があると、充実した暮らしが実現できると思う。

参加者の声
話しやすい雰囲気の中、いろんな人とさつきばらんに話せた。自分の考えに共感してくれる仲間に出会えた。今後もうこうした機会を設けてほしい。



実際に対話を体感するところから始めました

共に歩んでいくために
2回の座談会で、さまざまな視点で想いが語られました。そんな中で「つながれる機会(場所)の創出」をはじめとして、参加者それぞれが新たな気づきを得られたようです。この座談会をきっかけに、住民一人一人が想いを語り、つながることで、小さなワクワクが少しずつまちに溢れてくるかもしれません。

「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けて、住民一人一人が本音で話し、想いや情報を共有することで、住民の皆さんと行政が手を取り合い共に歩んでいきたい。

こんな役場の想いから生まれたのが「i座談会」です。これまでの「町政座談会」と異なり、本音で話しやすい雰囲気づくりを心がけた対話型の座談会。役場若手職員がゆるささをキーワードに企画から運営に携わっています。

若手職員一人は「まちは一人一人の想いの集合体。だからこそ住民一人一人の想いを共有することが大切です。少しずつ改善を重ねながら、本音で話せる場を住民の皆さんと共に創り上げていきたい」と話していました。

これが新たな座談会のはじめの一步。ぜひ参加してみてくださいいかがでしょうか。

次回テーマを決めて開催
①なだでも参加可能
●教育・人材育成
日時 10月18日(金)19時
場所 ふれあいホールみせん

●産業振興「米・園芸」「畜産」「林業」「商工・観光」
日時 10月31日(木)19時
場所 赤名農村環境改善センター

■問合せ
企画財政課
電話 76・3941